

令和7年度 事業計画書

事業局課	都市整備局	都市デザイン室				新規拡充	■ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	6	
歳出予算科目	一般会計	12	款	1	項	1	目	政策番号	29	施策番号	7
事業名称	都市デザイン行政推進費							12月補正予算			

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
補正後	70,842	0	0	28	40,000	30,814
補正前	20,842	0	0	28	0	20,814
増▲減	50,000	0	0	0	40,000	10,000

事業概要 (アクティビティ)		都市デザイン行政推進及び横浜市都市美対策審議会の運営を行う。							
事業指標① (アウトプット)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
都市デザイン行政の 推進	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
	推進	実績	推進	推進					
事業指標② (アウトカム)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
ヨコハマアンケート「現在の横浜市の 景観について、総じてどう感じますか。」という問いに対し	単位	目標	76	78	78	78	78	78	78
	%	実績	79	84					
事業目的		都市デザイン行政としては、公共施設や民間施設のデザインの企画・調整や、官民連携によるきめ細やかな魅力づくり等、各主体の事業進捗にあわせて都市デザインの実践を進めている。これにより、「住みたくなる」「訪れたくなる」、個性と魅力あふれる都市づくりを進めていく。 また、横浜市都市美対策審議会では、都市の美観の向上や魅力ある都市景観づくりを図ることを目的に、建物やまちなみの美観、デザインなどのほか、「景観法」や「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」に基づく景観ルールに関することなど、重要事項について、審議を行っている。本審議会では都市デザインの専門家や市民委員等で審議を行うものであり、デザインの質を担保し横浜の個性と魅力あるまちづくりを推進するためには必要不可欠な審議会となっている。							
背景・課題		令和6年4月に実施したヨコハマアンケートでは、「あなたが横浜の魅力だと感じるものを3つ選んでください」という問いに対し、84.2%の人が「街並み・景観（夜景を含む）」と回答。これを継続していくために、今後も都市デザイン行政を推進する必要がある。							
根拠法令・方針決裁等		横浜市都市美対策審議会条例（昭和40年7月制定）							
根拠・データ等		令和6年4月に実施したヨコハマアンケートでは、「あなたが横浜の魅力だと感じるものを3つ選んでください」という問いに対し、84.2%の人が「街並み・景観（夜景を含む）」と回答。							
事業スケジュール		都市デザイン行政推進：通年 都市美対策審議会運営：通年							
事業開始年度		昭和40年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		補正後	補正前	差引（増減）	増減説明
	1	事務費	5,817	5,817	0	
	2	都市美対策審議会運営	1,157	1,157	0	
	3	都市デザイン行政推進	63,868	13,868	50,000	事業実現に向けて、早期着手が必要なため
	細事業合計		70,842	20,842	50,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	馬場 明希	伊藤 三英	